

参考・引用文献

本書は多数の既往文献、資料を参考に執筆、編集されたものです。本来は、本編中に参考とした文献の著者名と公表された年を記すべきところですが（図の引用など一部は本編中にも記載）、本書の性質を踏まえ省略しました。参考・引用した主な文献を以下にまとめて記載します。

- 馬場敬次・林健一・通山正弘 (1986): 日本陸棚周辺の十脚甲殻類. 日本水産資源保護協会, 東京.
- 遠藤広光 (2005): 土佐の魚と分類学, p. 80-89. 海洋高知の可能性を探る, 高知新聞企業, 高知.
- 遠藤広光・岩崎望・町田吉彦・岩井雅夫・門馬大和 (1999): 曳航体カメラによる室戸沖深海底生性魚類および甲殻類の予備調査. JAMSTEC 深海研究, 14, 411-420.
- 外来種影響・対策研究会 (2008): 河川における外来種対策の考え方とその事例【改訂版】
—主な侵略的外来種の影響と対策—. リバーフロント整備センター, 東京.
- 浜田哲暁・佐藤重穂・岡井義明 (2006): 外来種ヒゲガビチョウ *Gerrulax cineraceus* の四国における記録と繁殖. 日本鳥学会誌, 55(2), 105-109.
- 平岡雅規・鳶田智 (2004): 四万十川の特産品スジアオノリの生態学. 海洋と生物, 26(6), 508-515.
- 平岡雅規・田中幸記・田井野清也・蜂谷潤 (2012): 温暖化最前線の藻場変動と対応策. 海洋と生物, 34 (4), 314-318.
- 平田智法・山川武・岩田明久・真鍋三郎・平松亘・大西信弘 (1996): 高知県柏島の魚類相—行動と生態に関する記述を中心として—. 高知大学海洋生物教育研究センター研究報告, 16, 1-177.
- 石田実 (2006): 日本太平洋岸のマイワシ産卵量の急減と土佐湾に継続する産卵場の特性. 水産海洋研究, 70(3), 170-175
- 蒲原稔治 (1958): 浦戸湾内の魚類. 高知大学学術研究報告, 7(13), 1-11.
- 環境庁 (2000): 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—爬虫類両生類. 財団法人自然環境研究センター, 東京.
- 笠原昊 (1950): 日本近海の捕鯨業としての資源. 日本水産研究所報告, 4, 1-103.
- 片野修・海野徹也・谷口順彦編 (2011): アユの科学と釣り—美しい川とアユを願って—. 学報社, 東京.
- 加藤秀弘 (1995): マッコウクジラの自然誌. 平凡社, 東京.
- 加藤秀弘 (2000): ニタリクジラの自然誌. 平凡社, 東京.
- Kato, H. (2004): "Kujira-damari", Fantastic whale aggregate place of large whales in Tosa Bay. *Farming Japan* 38(6), 17-21.
- 加藤秀弘 (2005): 土佐の鯨溜まり. 海洋と生物, 27(6), 627-631.
- 加藤秀弘・中村玄 (2012): 鯨類海産哺乳類学(第二版). 生物研究社, 東京.

- Kato, H. and W. F. Perrin (2009): Bryde's whale. Encyclopedia of Marine Mammals, 2nd edition, Academic Press, New York.
- Kato, H., E. Shinohara, T. Kishiro and S. Noji (1996): Distribution of Bryde's whales off Kochi, Southwest Japan, from the 1994/95 sighting survey. Rep. int. Whal. Common, 46, 429-436.
- 木白俊哉 (2012): 西部北太平洋、特に南西部日本縁談におけるニタリクジラの資源生態学的研究. 東京海洋大学大学院博士学位論文.
- Kishiro, T., H. Kato, T. Miyashita, I. Ishii, T. Nakajima and E. Shinohara (1997): Abundance of Bryde's whales off Kochi, estimated from the 1994/95 and 1995/1996 sighting surveys. Rep. int. Whal. Common, 47, 163-168.
- 高知大学黒潮圏研究所 (1991): 黒潮のナゾを追う. 高知新聞社, 高知.
- 高知営林局 (1996): ~保護林への誘い~生きた植物図鑑. 高知営林局, 高知.
- 高知県 (2012): 平成 23 年度高知県集落調査報告書. 高知県, 高知
- 高知県観光振興部観光政策課 (2012): 平成 23 年県外観光客入込・動態調査報告書. 高知県, 高知.
- 高知県・高知県牧野記念財団 (2009): 高知県植物誌. 高知県, 高知.
- 高知県緑の環境会議山村研究会 (1995): 「国際化」時代の山村・農林業問題 ー再建への模索・高知県からの報告. 財団法人高知市文化振興事業団, 高知.
- 高知県内水面漁業協同組合連合会 (1992): 土佐の川 全県編 (依光良三編). 高知県内水面漁業協同組合連合会, 高知.
- 高知県レッドデータブック [動物編] 編集委員会 (2002): 高知県レッドデータブック [動物編] 高知県の絶滅の恐れのある野生動物. 高知県文化環境部環境保全課, 高知.
- 高知市・国立大学法人高知大学 (2009): 高知市総合調査受託研究成果報告書 第 1 編「地域の自然」. 高知市・国立大学法人高知大学, 高知.
- 高知市・国立大学法人高知大学 (2010): 高知市総合調査受託研究成果報告書 第 2 編「地域の社会」. 高知市・国立大学法人高知大学, 高知.
- 目崎拓真 (2008): 四国のサンゴ群集 ー日本のなかでの四国の位置づけー. CURRENT, 9 (1), 2-3.
- 目崎拓真・久保田賢 (2012): 高知県沿岸海域における造礁サンゴ群集の変遷. 海洋と生物, 34 (4), 332-337.
- 森下郁子 (2011): ダム湖生態系の時間的変化, p. 60-80. ダムと環境の科学Ⅱ ダム湖生態系と流域環境保全 (大森浩二・一柳英隆編), 京都大学学術出版会, 京都.
- 永森通雄 (2003): ヤナセスギの森から 高知県の林業をおもう. 飛鳥, 高知.
- 中坊徹次・町田吉彦・山岡耕作・西田清徳 (2001): 以布利 黒潮の魚. 大阪海遊館, 大阪.
- 中西安男・吉川貴臣・清家晴男・久川智恵美・吉澤未来・山崎博継・大地博史・三宅由起・濱田早絵・渡部孝 (2005): 高知県におけるオオイタサンショウウオの保護活動. 動物園水族館雑誌, 46(4), 125-130.
- 日本ベントス学会 (2012): 干潟の絶滅危惧動物図鑑 海岸ベントスのレッドデータブック. 東海大学出版会, 東京.
- 日本建築学会 (1989): 図説集落. 都市文化社, 東京.

- 野元彰人・木邑聡美 (2011): 高知県におけるシオマネキ(スナガニ科)の新たな生息地の記録と分布状況(2). 四国自然史科学研究, (6), 1-5.
- 岡田正也・小松章博 (2012): 高知県奈半利川水系における在来アマゴの識別と個体群構造の推定. 水産増殖, 60(1), 89-97.
- 大塚高雄・野村彩恵・杉村光俊 (2010): 四万十川の魚図鑑. ミナミヤンマ・クラブ, 東京.
- 阪本匡祥・町田吉彦・遠藤広光 (2009): 浦戸湾とその流入河川河口域の魚類. p. 415-473, 高知市総合調査受託研究成果報告書第1編「地域の自然」, 高知市・国立大学法人高知大学, 高知.
- 佐藤重穂 (2009): 四国山地東部の三嶺山麓におけるソウシチョウの営巣記録. 四国自然史科学研究, (5), 24-26.
- 佐藤重穂・浜田哲暁・山本貴仁 (2007): 四国地域におけるチメドリ科外来鳥類の定着実態の解明. 四国外来鳥類研究会, 高知.
- 千本山保護林記録整備委員会 (1974): 魚梁瀬千本山保護林. 高知営林局, 高知.
- 千石正一・疋田努・松井正文・仲谷一宏 (1996): 日本動物大百科第5巻 両生類・爬虫類・軟骨魚類. 平凡社, 東京.
- 四国森林管理局 (2013): 四国の保護林 生命あふれる森. 四国森林管理局, 高知.
- Shinohara, G., H. Endo, K. Matsuura, Y. Machida and H. Honda (2001): Annotated checklist of the deepwater fishes from Tosa Bay, Japan, p. 283-343. In *Deep-sea fauna and pollutants in Tosa Bay*, edited by T. Fujita, H. Saito and M. Takeda, Natl. Sci. Mus Monogr.
- 篠原重則 (1991): 過疎地域の変貌と山村の動向. 大明堂, 東京.
- 多田昭・大原健司 (2010): 四国におけるピロウドマイマイ属の分類—特にトサビロウドマイマイとシコクピロウドマイマイについて—. 徳島県立博物館研究報告, 20, 37-42.
- 高橋勇夫・東健作 (2006): ここまでわかったアユの本 変化する川と鮎、天然アユはどこにいる?. 築地書館, 東京.
- 高橋裕 (2012): 川と国土の危機 水害と社会. 岩波書店, 東京.
- 田中幸記 (2008): 高知県西部海域の藻場分布 その1 ～藻場分布の現状～. CURRENT, 9 (3), 4-5.
- 田中幸記 (2009): 高知県西部海域の藻場分布 その2 ～藻場分布の変遷～. CURRENT, 10 (1), 2-3.
- 内田朝子 (2002): 矢作川中流域におけるアユの消化管内容物. 矢作川研究, 6, 5-20.
- 上野俊一 (1976): 四国のオオイタサンショウウオ, p. 8-11. 幡多の自然, 高知県.
- 山田ちはる・伊谷行・上田拓史 (2010): 高知県浦ノ内湾におけるミドリイガイの生息場所利用と水平分布. *Sessile Organisms*, 27, 41-50.
- 山中二男 (1978): 高知県の植生と植物相. 林野弘済会高知支部, 高知.
- 全国生涯学習フォーラム高知大会環境プロジェクト委員会 (2010): 高知県の自然環境 (全国生涯学習フォーラム高知大会実行委員会・四国自然史科学研究センター・環境の杜こうち編), 全国生涯学習フォーラム高知大会実行委員会, 高知.

写真提供者

【個人】

- ・荒川 良 (国立大学法人 高知大学 農学部)
- ・石川 慎吾 (国立大学法人 高知大学 理学部)
- ・伊谷 行 (国立大学法人 高知大学 教育学部)
- ・岩瀬 文人 (公益財団法人 黒潮生物研究所)
- ・岡村 眞 (国立大学法人 高知大学 総合研究センター)
- ・谷岡 仁 (香美市在住)
- ・細木 光夫 (有限会社 エコシステム)
- ・前田 綾子 (高知県立牧野植物園 研究・教育普及部)
- ・溝渕 幸三 (特定非営利活動法人 日本ウミガメ協議会)
- ・三本 健二 (四国貝類談話会)
- ・谷地森 秀二 (認定特定非営利活動法人 四国自然史科学研究センター)
- ・依光 良三 (国立大学法人 高知大学 名誉教授)
- ・渡部 孝 (わんぱーくこうちアニマルランド)

【団体】

- ・株式会社 西日本科学技術研究所

(50 音順／敬称略)